

Title	デザイン理論 61号 目次
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2013, 61
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/53528
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

デザイン理論 61/2012秋

目次

追悼 上平貢元会長

上平貢氏のご逝去を悼んで	藤田 治彦	1
上平貢先生のご経歴およびご業績	並木 誠士	2
上平先生の思い出	島先 京一	3

学術論文

モニタージュが暴露する「無気味なもの」としての現実 — 中井正一の映画理論にある精神分析的側面について —	伊集院敬行	5
1920年代から1930年代にかけての住環境に関わる 運動からみる型而工房の独自性	亀野 晶子	19
「アノニマス・デザイン」はつくり得るか — 柳宗理の、発見されることへのプロジェクト —	北田 聖子	35
ケース・スタディ・ハウス・プログラムにおける ラファエル・ソリアノの空間像 — ケース・スタディ・ハウスにみるライフスタイルと 空間の表象に関する研究（その1） —	末包 伸吾	49
久保田米僊とデザイン — クリストファー・ドレッサーのデザイン論の受容をめぐって —	竹内 有子	63
芸術における周縁的なものと人間の生 — 「限界芸術」の概念を手がかりに —	三木 順子	77
「輸出向彫刻家具」について — ウラジオストック市での調査を中心に —	門田 園子	91

研究報告

アーティスト・デザイナー杉田禾堂の美術工芸指導論	宮島 久雄	105
--------------------------	-------	-----

研究例会発表要旨（詳細次頁）

第54回大会研究発表・パネル発表・シンポジウム要旨（詳細次頁）

会報72号

投稿規程・執筆要領

編集後記

欧文要旨

『デザイン理論』投稿票ほか

研究例会発表要旨

第210回研究例会 (2012年5月26日 於: 神戸芸術工科大学)

抽象絵画と近代技術	秋丸 知貴	120
— 心性の変容の造形的反映の観点から —		
1950年代の海外展における日本デザインのディスプレイとそのコンセプト	寺尾 藍子	122

第54回大会 (2012年7月21~22日 於: 京都工芸繊維大学)

大会発表要旨

1960年代チェコスロヴァキアの映画ポスターに関する考察	中川可奈子	124
アーティスト・デザイナー杉田禾堂の仕事	宮島 久雄	126
— 大阪府工業奨励館製作試作品を中心に —		
画家・李仁星の1930年代活動を中心に	姜 惠蘭	128
輸出彫刻家具 (1890-1930) について	門田 園子	130
— ウラジオストク市での調査を中心に —		
近代日本における少女的表象の生成について	神野 由紀	132
— 商品デザインの考察から —		
飯村隆彦のビデオ作品における「見る」ことと「見られる」こと	望月 由衣	134
21世紀における大型美術展の変容とその役割	山下 晃平	136
— 作品と場との関係性から —		
武田五一の建築意匠論とその思想的影響について	市川 秀和	138
近世初期障壁画の空間性	中澤菜見子	140
— 「間 (ま)」のダイナミクス —		
G.Th. リートフェルトの建築作品にみる地域性の表現について	奥 佳弥	142

パネル発表要旨

都市型アートフェスティバルの実践プログラム	大森 正夫	144
— 「神戸ビエンナーレ2013」のプロジェクトとマネージメント —		
SOUND RING	小山 格平	146
— インテリア空間に心地よい音の広がり求めて —		
Lolita	滝口 洋子	148
京団扇のデザイン	塚田 章	150

シンポジウム発表要旨

シンポジウム「デザイン教育の今と昔 — 近代日本デザイン教育から見えてくるもの —」		153
デザインはいつから教育されたか	森 仁史	154
近代京都におけるデザイン教育	青木美保子	156
— 京都高等工芸学校, 京都市立美術工芸学校 —		
服飾教育におけるデザイン教育	鈴木 桜子	158
デザインとデザイン思考の美しさ	櫛 勝彦	160